

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 24 年度第 7 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 25 年 3 月 21 日 (木) 午後 6 時 00 分から午後 7 時 00 分まで		
開催場所	市役所本庁舎第一会議室		
出席者	委員	<出席者：12 名> 植村会長・加藤委員・竹内委員・清水委員・波多野典子委員・多田典子委員・佐野委員・鈴木委員・勝又委員・簀口委員・北澤委員・松村副会長 <欠席者：2 名> 多田岳人委員・渡辺委員	
	事務局	小野ごみ対策課長・石阪中間処理場担当課長・三浦ごみ処理施設担当課長・今井ごみ対策課長補佐・井上・八方・佐藤・府川	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1
会議次第	1 開 会 第 6 回審議会会議録の確認について 2 議 題 (1) 報告事項 平成 24 年度可燃ごみ処理状況等について (2) 平成 25 年度一般廃棄物処理計画について (3) 平成 25 年度一般廃棄物処理計画の答申 (4) その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他			

審議過程（主な発言等）

植村会長	<p>開会</p> <p>先日、事務局より会議録が郵送されたが、ご意見がなければ、HPでの公開手続きをさせていただくがいかがか。</p> <p>（異議なし）</p>
植村会長	<p>第6回廃棄物減量等推進審議会の会議録について確認されたこととし、公開の手続きをする。</p> <p>本日の配布資料について事務局より確認をお願いしたい。</p>
府川係長	<p>（配布資料確認）</p>
植村会長	<p>それでは、議題（1）報告事項 平成24年度の燃やすごみの処理状況等について事務局からお願いしたい。</p>
三浦課長	<p>（資料「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」に基づき説明）</p>
植村会長	<p>これまでの経過に基づき、資料の精査に係る質疑は受けられないが、ただ今の報告内容に限り質問等を受け付けたい。質問等はあるか。</p>
清水委員	<p>2月については、対前年同月比9.28%と平成25年度の中で最も大きい減少率を示しているが、理由を伺いたい。</p>
三浦課長	<p>家庭系、事業系ともに減少している。家庭系について収集日数が25日に対して24年度は24日と1日少ないことが挙げられる。また、事業系は12月から収集体制等に変更が生じたため収集量が減っている。</p>
佐野委員	<p>ただ今の説明では、2月に処理量が減少したという理由とは異なり、例えば、家庭系は収集日数が少ないだけであるため、別の問題である。もっと正確な説明を求めたい。</p>
植村会長	<p>すう勢的な側面や個別の事情等もあるので一概に言えないが、事務局では現時点ではただ今回答した考え方。</p>
佐野委員	<p>事務局の説明に対して審議会の立場としては果たしてそれでよいのか。質問に対して答えになっていないということを意見すべきである。</p>
植村会長	<p>この問題に関しては色々な事情があり、全てを比較検討して要因を明確にすることは難しいと考えられ、その中で主だったことを説明したのだと推測されるが、それらのことについて、審議会として了解できるとして良いか。</p>
加藤委員	<p>今年度の2月については、収集日が少なかったことはあるにせよ、1日当たりのごみの排出量は少なくなっており、他にも要因があるように思われる。</p>

審議過程（主な発言等）

清水委員	他の要因を事務局で把握していないということが分かったということで了解した。
植村会長	<p>続いて、議題2の平成25年度一般廃棄物処理計画に入る。前回の本審議会の中で、平成25年度一般廃棄物処理計画案に係るご意見、文言の修正等については、2月25日までに事務局へ連絡するよう依頼したところである。本日、事務局より配布させていただいているものは、各委員からのご意見等を反映させ、会長と副会長との調整を経て、一定の取りまとめをしている。</p> <p>まずは事務局から修正箇所を説明していただきたい。</p>
府川係長	(配布資料確認)
植村会長	各委員の様々な意見が数回に渡る審議会において出された。それらを集約する形で、正副会長の調整を経て事務局に提示し作成したものとなる。したがって、平成25年度一般廃棄物処理計画については完成とし、ここでは、報告のみとさせていただきます。
佐野委員	2ページの燃やすごみ処理量の推移についてのグラフであるが、平成24年度の推計値を入れる必要を感じる。現実を評価するためには必要だと思う。
植村会長	直近の数値が表示されているとより良く分かるのだが、表中の数値は年度単位であり、また、推計値としてどこまで確実性があるのか、事務局の方で考えているかと思う。個人的には、ここでは確定値を出しておいた方が良いと思うのだがいかがか。
今井課長補佐	この表については決算年度の確定値を記載している。先ほど、ごみ処理施設担当課長から説明があったように、燃やすごみの処理については計4団体に処理を依頼しているが、4団体に搬入されている量をつぶさに把握できている状況にない。したがって、推計値まで算出することは困難であることを理解していただきたい。
加藤委員	燃やすごみを減量しようということが、7ページから8ページに各施策として記述されている。前回プロパガンダという言葉が出たが、プロパガンダでは市民は納得しない。この裏付けを少しは検討したのか。
今井課長補佐	検討は進めているが、数値的な部分については、これまで審議いただいた中において会長の方からも意見をいただいているが、今後策定される、ごみ処理基本計画等詳細なデータ調整が必要である中で一定の整理を行っていくことで検討を進めているところである。また、ご意見として、松村副会長より、ごみ減量の達成に向けた施策として、6行ほどリード文を付け加えた。ここで主眼としているのは、ごみ減量に携わっていただいている市民の方々のみならず、幅広く市民の方々にご協力いただけるように努力していくための目標と定めており、ご理解いただきたい。

審議過程（主な発言等）

清水委員	先ほどの佐野委員の表中に推計値を盛り込む件についてはどうなったのか。
佐野委員	質問しても回答を受ける前に次の質問が出るため、進行については整理していただきたい。
植村会長	佐野委員から推計値を盛り込むべきという意見が出たが、現在のところ、各支援先からの報告が毎月出ており、現在の手元にある把握された数値としては、平成25年度推計の最終段階が未だまとまっていない。平成24年度の直近の数値を入れることができれば望ましいが、ここでは確定値のみで進めて行きたいがいかがか。
佐野委員	推計値を盛り込む理由として、今後は簡単に減るものではないということグラフで表した方がよいと思っているからであり、これを読んで努力しなければならぬと思っただけという観点で提案したものである。次年度にはそういう考えを是非入れていただきたい。
植村会長	現在、減量が困難な状況であり、5%の減量目標を掲げているが、先ほどの「燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について」に記載のある、3.7%の減であることが分かる。これまで、5%は達成してきたところであるが、今回は達成が困難な状況であり、今後も厳しいことが推察される。それらを踏まえると、佐野委員のご指摘はもっともであり、推計値のすう勢について確定次第HP等で公開する手段はあるのか。
今井課長補佐	平成25年度一般廃棄物処理計画については、各委員に諮問したところであり、また、第5回の本審議会でも量的数値を示したところである。実績値については10月現在の数字を基準としており、それに基づいて5%削減ということで算定したが、今回新たな数値を入れるとなると全ての部分に影響が出てくることから、今回の内容で答申とさせていただきます。 また、平成23年度の実績値については、今年度も平成23年度清掃事業の概要に記載しており、以前各委員には配布した。平成24年度についても同様の形で示していくことになるだろう。また、市報7月15日号の生ごみ減量リサイクル特集にも掲載する予定である。
加藤委員	2ページは確定値、3ページは推計値が記載してあり、これを読めば分かるのでこれで十分だ。
植村会長	今後、視覚的に表現することも検討し、その中で、どのような手段がよいか、減量が困難な状況にあることは事実であり、それをどのように多くの市民に見ていただくかということも大変重要である。佐野委員のご指摘については、今後の課題ということで検討させていただきたい。
佐野委員	1ページから2ページの文章が非常によくまとめられている。
植村会長	質疑はこれで終了とする。この内容を平成25年度の一般廃棄物処理計画案と

審議過程（主な発言等）

委員各位	<p>して答申させていただくがよろしいか。</p> <p>（了承）</p>
植村会長	<p>後ほど稲葉市長が出席し、会長である私が平成25年度一般廃棄物処理計画を答申する。各委員の手元にあるのは、市長に渡す答申文である。ここでは、これまで行った審議の経過及び本審議会からの要望等を付帯意見として私が代表して取りまとめている。まずは、読ませていただく。</p> <p>（答申文朗読）</p>
加藤委員	<p>今後は、基本計画策定も考えられ、様々な取り組みを行うと思う。その中で、市民の意見をどのように訊くか、また、どのように取り入れるか考えていただきたい。他市も注目をしているのでよろしくお願したい。</p>
植村会長	<p>それでは、市長に答申書を渡すこととしたい。</p> <p>（平成24年度一般廃棄物処理計画の策定について答申）</p>
稲葉市長	<p>ただ今、平成25年度一般廃棄物処理計画の策定について答申をいただいた。昨年の10月に諮問させていただき、以降、延べ10時間を超える審議をしていただいたことに感謝する。皆様から答申いただいた内容はもとより、付帯意見についても真摯に受け止めたい。ただ今、市議会の選挙が行われており、争点にはならないが重要な課題だと認識している。新聞等でご存じの通り、日野市、国分寺市、小金井市の3市共同での新処理施設の建設に向けての地域計画を環境省に提出した。更に覚書も締結した。具体的に中味が未だ表に出てはおらず、私の方から申し上げられるのはこの程度である。この方向に沿って小金井市としても与えられた役割と責任をきちんと果たし、3市共同処理に向けて努力していきたい。委員の皆様には報告できる時期が来たときにきちんと報告する。</p>
植村会長	<p>その他として事務局より今後の日程等について報告してもらいたい。</p> <p>未だ日程は確定しておらず、確定次第、開催通知をお送りする。</p>
府川係長	<p>各委員には、長期に渡り種々検討していただき、様々な課題が明らかとなった。</p>
植村会長	<p>今後は、基本計画等も予定されることから、様々な観点からの審議が必要になるかと思う。</p> <p>閉会</p>